

■（１３）紙面のイラストも現場で写生！

日本の金星探査機「あかつき」が、金星を回る軌道に入るのに失敗した。全国の子供らの夢と希望を込めた２６万人分のメッセージを搭載している探査機。状況を写真で見たいのはやまやまだが、ちょうど地球から見たら金星の裏側にいる間の出来事で撮影は無理だった。こんな時に紙面の解説で力を発揮するのが、記事に付く宇宙空間のイラストだ。

コンピュータグラフィックスの技術の進歩もあり、データ豊富なイラストが紙面に載るようになった。読者はイラストレーターがパソコンを前に作画している姿を想像するだろう。ところが彼らも新聞記者で、現場に飛び出すこともある。大きな事故現場に向かうヘリコプターに搭乗して、空から状況を取材。臨場感あふれ、かつ分かりやすい図を瞬時に描く。紙面を飾ったイラストの中に、国際的に高い評価を受けたものもある。

打ち上げた宇宙航空研究開発機構は、軌道を計算した結果、６年後に再チャレンジの機会があると説明。メッセージを寄せた小学６年生の女儿がニュースの中で、６年後の成功を祈りながら言っていた。「そのころ私の将来の夢も実現に近づいていたらいいな」（山）